

1. はじめに

一人の土木技術者は、学校教育課程における技術体系の修得と奉職後の業務や先輩・同僚の指導・助言を介した能力向上により養成される。戦後からバブル崩壊の1990年頃までの比較的長い期間、この人材育成システムに大きな変化はなく、ほぼ安定的に運用されてきた。しかし、近年、社会情勢や自然環境のダイナミックな変動にともない、技術者の教育・人材育成に関する様々な課題が顕在化し、それらへの対応が迫られている。元々、他の技術分野に比べると土木技術者には高い総合力が求められてきた。しかし、近年の環境変化はいずれも、「専門技術能力」に加えて、コミュニケーション能力や問題解決能力など「人間力」を醸成するための教育・人材育成をこれまで以上に重視することを求めている。本文では土木工学の教育と人材育成における課題を提示し、平成21、22年度の教育企画・人材育成委員会の活動・取り組みをとりまとめて、今後の展望を報告する。

平成23年5月

土木学会 教育企画・人材育成委員会委員長
道奥康治

+